独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院

病院長名	後藤　百万
所在地	〒457-8510 愛知県名古屋市南区三条一丁目 1 番 10 号
交通案内	名鉄「神宮前駅」、地下鉄「伝馬町」、JR 東海「東海道本線熱田駅」・「中央本線　金山総合駅」 各駅より市バスにて 栄 21・神宮 12・金山 19 系統「中京病院」下車（徒歩 1 分）

▣　病院の特徴

名古屋市南区に位置する 31 診療科 661 床、医師数約 200 名の総合病院です。救命救急センターを設置するほか、ICU、NICCU 等の高機能病床及び、熱傷センター、脳卒中センター、循環器病センター、腎臓病センター、がん診療センターなどの診療組織を持ち、高度急性期・急性期医療を展開しています。また、2006 年地域医療支援病院、2007 年地域がん診療連携拠点病院、2021 年がんゲノム医療連携病院に指定され、名古屋を代表する大規模総合病院の 1 つとして名古屋市南部の中核病院の役割を担っています。

▣　研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

中京病院内科専門研修プログラム

【研修目標】

内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。内科専門研修終了に必要な症例を経験し、J-Osler に登録します。サブスペシャリティー領域も並行して研修し、専門分野の基礎を固めます。

【研修期間】3 年

【研修スケジュール】

名古屋大学のほか、名古屋市立大学、藤田医科大学、愛知医科大学と愛知県内全ての医学部との連携コースを有します。1 年次は内科系 7 診療科をローテート研修し、2 年次以降はサブスペシャリティー領域の研修を開始可能です。2 年間で 56 疾患群・120 例以上を主治医として経験し J-Osler に登録することを目標とします。内科専門医研修終了に必要な疾患は当院のみで経験可能です。また、救急内科当直医として主に二次の救急内科疾患対応を学びます。連携施設での異動研修の時期は連携する大学によって異なり、名古屋大学連携コースでは 3 年次の 1 年間の異動研修が基本です。連携施設においては当院では経験ができなかった内科疾患およびサブスペシャリティー領域を研修します。

▲カンファレンスの様子

▣　主な連携施設

【名古屋大学連携コース】：名古屋掖済会病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋共立病院、南生協病院、聖霊病院、市立四日市病院、市立半田病院、常滑市民病院、名古屋大学医学部附属病院

【名古屋市立大学連携コース】：名古屋市立大学病院、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、旭ろうさい病院

【藤田医科大学連携コース】：藤田医科大学病院

【愛知医科大学連携コ―ス】：愛知医科大学病院

▣　メッセージ

指導医　総合診療科部長　藤城　健一郎

当院は名古屋市南部地域および知多半島を中心とした地域の中核となる高度急性期病院で、高い水準の内科専門医教育を受けることができます。当院はがん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院に指定されており、がん診療に重点を置いています。また、国の 4 疾患に指定されているがん以外の糖尿病・ 循環器病・脳卒中に加え、腎臓病・膠原病リウマチに関してもセンター化し、関連複数診療科による横断的診療や多職種による包括的カンファレンスが効率的に行えるようにするなど、各内科専門的視点のみならず総合的な質の高い内科医療を研修・実践できる環境を整えています。加えて、1 次・2 次救急医療は勿論、3 次救急に特化した救急科があり、様々なレベルの内科系救急医療が経験できます。疾病予防から一般内科・内科専門および高度救急医療・回復期医療といった時代のニーズにあった内科専門医を養成するプログラムを提供します。

▣　募集要項

・採用予定人数	8 人
・給与／月額	(1 年目) 427,000 円 / (2 年目)449,000 円 (3 年目)470,000 円
・当直回数／月	5 回
・当直料／回	
・その他	
・応募連絡先	担 当 者　専門医プログラム推進室　高井
	電話番号　052-691-7151
	E メール　senmoni@chukyo.jcho.go.jp